

編集後記

今回は、「平和」がテーマでした。さまざまな切り口から、「言葉」が届きました。身近なところに平和が存在し、共通していることは、自分独りで成立できるものではなく、共にいて下さる存在があるということ。

「あなたがたに平和があるように」と、復活したイエス様からその言葉と存在に勇気づけられた弟子たち。そんな場面を思い出すような言葉に、ある研修で出会いました。

「あなたに出会って私になれる。私は、私だけで私になれない。」

私たちが一人で出来ることには限界があっても、支えてくれる誰かや何かによって少し強くなれる。

イエス様は「求めなさい。そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば見いだす。たたきなさい。そうすれば開かれる。」と教えて下さいました。「祈るとは既に与えられている現実を見いだす営みではないか。」と書いたのは『イエス伝』の著者、若松英輔氏。

あらゆる情報が氾濫する現代にこそ『私たち一人ひとりに語られているコトバに耳を澄まし、必要な知恵と勇気をお与え下さい。』と祈りたいと思います。

琵琶湖を眺めながら

新田まゆみ

滋賀に越してきて、20年余り。自宅の窓から琵琶湖が見えることは、私の自慢です。

空の色、琵琶湖の色、雲の形、鳥の姿・・・一瞬として同じではありません。

そんな美しい景色を見るたびに、心から、幸せだなあ、ありがたいなあと感じます。

みんなが、空を見上げて「きれいだな」と思える時そこには平和があるのではないのでしょうか。



あなたが平和を感じるひと時、心がホッとする瞬間など日常にある小さなしあわせの「種」を写真やことば・イラストなどで分かち合いませんか。2023年度のきずな誌は次回が最終号です。

